



信濃川

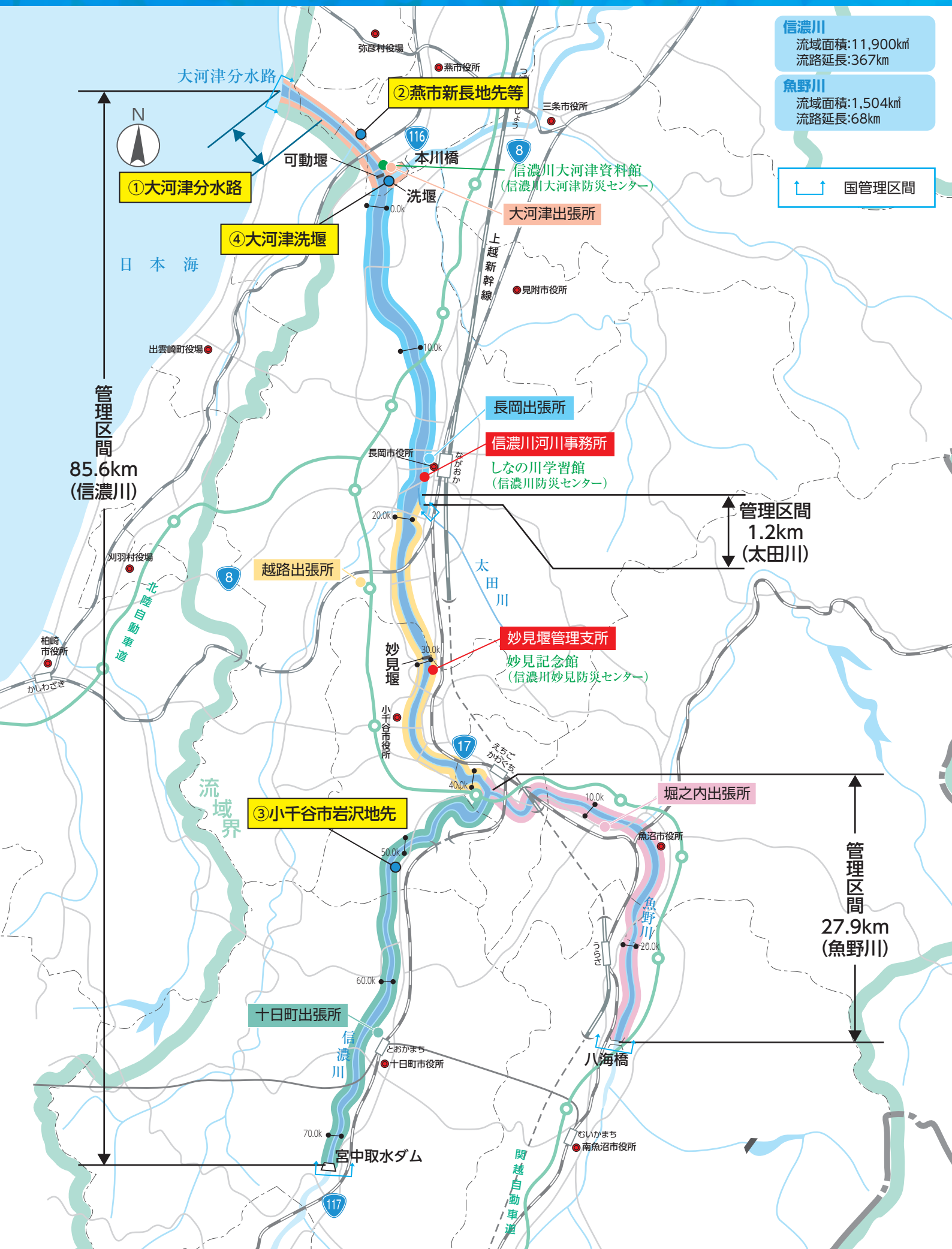
事業概要

2017



国土交通省 北陸地方整備局
信濃川河川事務所

主要事業位置図



維持管理

河川の状態把握

堤防や堰、水門、樋管等河川管理施設の傷み具合や不具合、老朽化などの程度を把握しています。

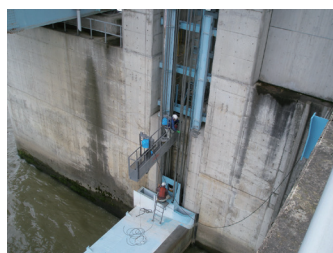
河川巡視・堤防等点検・施設点検

いつ災害が発生しても施設の機能（役割）が果たせるように、堤防などの施設巡視・点検を行い、異常の有無を確認しています。また、洪水時や地震時には巡視員・点検員を増やし、速やかに異常の有無を確認しています。



堤防除草

堤防の状態を把握する堤防等点検や、河川巡視を円滑に行うため、基本的に梅雨期前、台風又は秋雨期前の年2回、堤防除草を実施しています。



施設点検（妙見堰）



堤防等点検（護岸）



出水時巡視（大河津出張所管内）

維持管理対策

洪水時の被害防止や河川管理施設的良好な状態を保つため、様々な対策を行っています。

河道掘削

河川において水の流れる場所を「流路」と言います。そのうち特に洪水を安全に流せることを意識して計画する流路を「河道」といいます。河道掘削とは、河床や河岸を掘削することをいいます。

掘削した土砂は、築堤などに利用し、有効活用を図ります。



実施前

新柳生橋より下流側



実施後

樹木伐採

川の中に繁茂した樹木が、洪水の流れを妨げたり、河川巡視や点検等の支障とならないよう、河川環境に配慮しながら計画的に樹木伐採を行っています。なお、伐採にかかるコスト縮減や資源の有効活用を図る試みとして、樹木の伐採を希望する方を募り、伐採・持ち帰っていただく取り組みを実施しています。詳細はホームページなどで事前にお知らせします。



実施前

大手大橋より上流側



実施後

河川整備計画

■信濃川水系河川整備計画(平成26年1月策定、平成27年1月一部変更)

- ・「信濃川水系河川整備計画」は、信濃川水系河川整備基本方針(平成20年6月策定)に基づき、今後概ね30年間に実施する河川工事の目的、種類、場所等の具体的事項を示す法定計画です。
- ・信濃川の自然環境や河川景観を保全・継承するとともに、地域の個性と活力、川の歴史や文化が実感できる川づくりを目指し、関係機関や地域住民と連携を強化しながら治水、利水、環境に係る施策を総合的に展開していきます。
- ・本計画は現時点での社会経済状況、自然環境状況、河道状況等をもとに策定したものであり策定後の変化や新たな知見、技術の進歩等が生じた場合には、計画対象期間内であっても適宜、見直しを行います。

■河川整備計画の対象区間

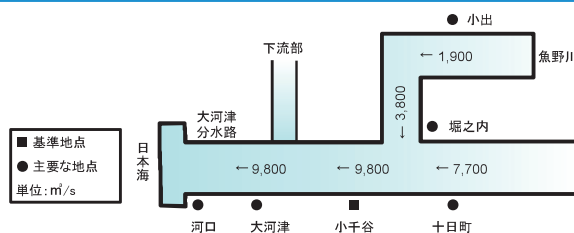
- ・信濃川水系における国土交通大臣の管理区間を対象とします。

■河川整備計画の目標

- ・戦後最大規模の洪水に対して災害発生防止または被害の軽減を図ります。

■上下流バランスを考慮した治水対策の実施

- ・信濃川水系は流路延長が長いことから、上下流・本支川のバランスを確保しつつ、県境区間や支・派川については関係する河川管理者と連携を図り、信濃川水系全体として段階的かつ着実に治水安全度が向上するよう築堤、河道掘削等の整備を実施します。



主要事業の概要

大河津

①大河津分水路

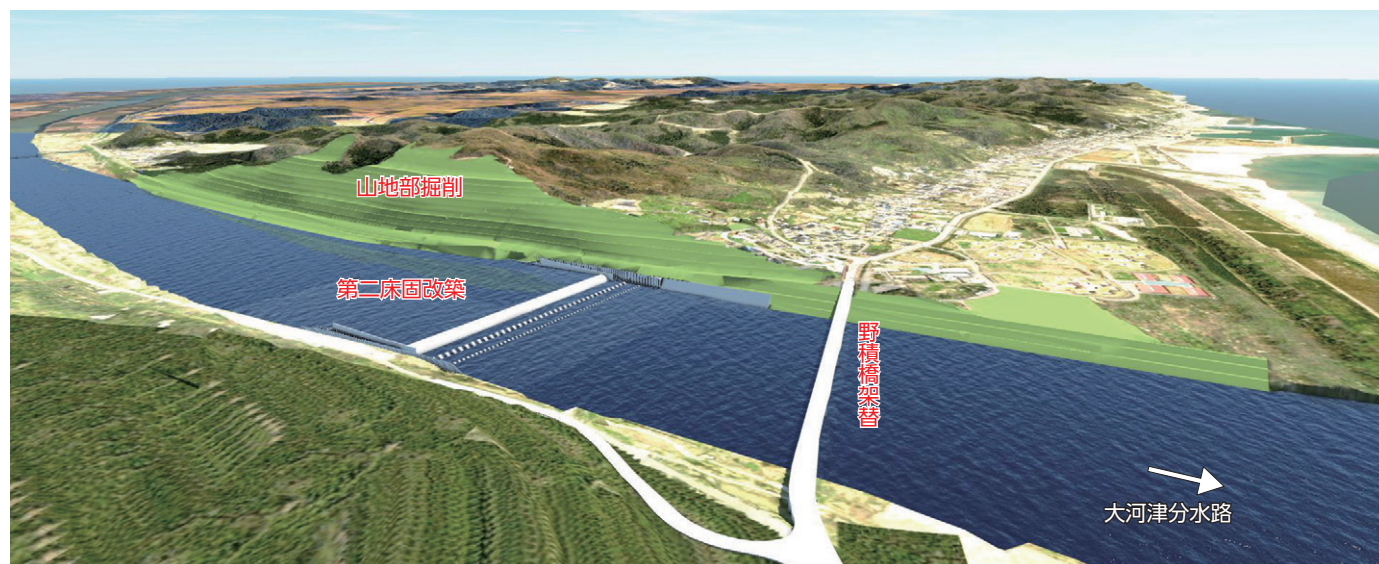
河道拡幅

大河津分水路より上流側に位置する信濃川(中流部)や千曲川をはじめ、信濃川水系全体の洪水処理能力を向上させるため、最下流に位置する大河津分水路の改修に平成27年度より着手しています。大河津分水路の改修にあたっては、課題となっている洪水処理能力不足や河床洗掘等の対策として河口山地部掘削、低水路拡幅、第二床固の改築を実施します。

平成29年度は、河道拡幅のための調査設計及び用地取得を進めるとともに、河口山地部掘削の推進、右岸部の取付擁壁及び野積橋架替に着手する予定です。



(事業着手前)



(完成イメージ)

主要事業の概要

大河津

②燕市新長地先等(大河津分水路右岸)

堤防



大河津分水路右岸堤防の一部区間では、浸透に対する質的強化が必要となっています。

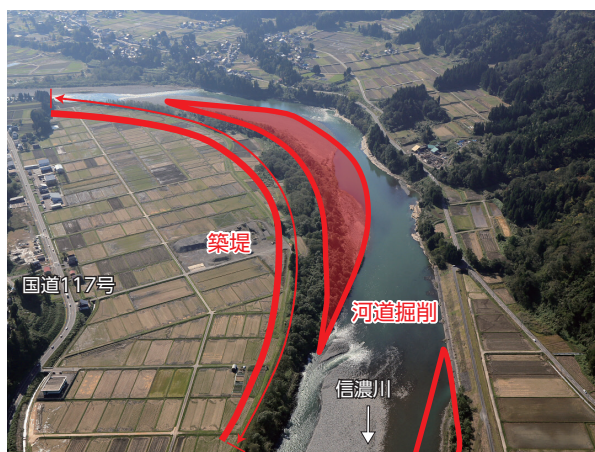
万が一堤防が決壊した場合、はん濫による影響は新潟市にまで及び甚大な被害が想定されます。

平成29年度は、堤防強化対策（浸透対策）及び用水路の付け替えを行います。

信濃川

③小千谷市岩沢地先

河道掘削



小千谷市岩沢地区の堤防高は計画高水位（HWL）以下であり、洪水の安全な流下が困難な状況です。

背後地には家屋や国道があり、家屋などへの浸水被害を防止する必要があります。

平成29年度は、河道掘削及び事業進捗に必要な用地取得を行います。

信濃川

④大河津洗堰(制御装置更新)

維持管理



大河津洗堰は、大河津可動堰と一体となって、信濃川の流量をコントロールしています。平常時には信濃川下流域（新潟市、三条市側）へ放流を行い、信濃川下流域が洪水の際にはゲートを閉じることで、大河津分水路から直接日本海へ流しています。

洪水を防ぐためのゲート操作などを確実に行うため、老朽化した制御装置の更新を行います。

防災・危機管理

災害時における対応

いつ発生するか分からない災害に備えて、河川の状態把握に努めているほか、災害対策機械の訓練や水防対応に必要な資機材の確保、水防関係機関との連携などに努めています。

河川合同巡視

洪水時に迅速に対応できるように、想定される被害状況や危険箇所を、関係機関と一緒に確認する「河川合同巡視」を実施しています。



災害対策機械

地域防災拠点として、排水ポンプ車、照明車、衛星画像伝送装置等を配備し、毎月訓練を行って、災害に備えています。



排水ポンプ車による排水状況

水質事故対応

河川の水利用や河川環境に影響を及ぼす水質事故対応として、関係機関と連携して、事故対策や水質の監視、環境保全の推進などを行っています。



吸着マットによる油回収状況

遠隔監視と遠隔操作

出張所、事務所において、水門等の監視や遠隔操作を行うシステムを導入し、災害等で現地操作ができない場合に遠隔で操作ができます。



緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）

大規模な自然災害等に際して被災状況の把握や被災地方自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を迅速に実施します。

TEC-FORCEの任務

TEC-FORCEの概要

大規模自然災害への備え、迅速に地方公共団体等への支援が行えるよう、平成20年4月にTEC-FORCEを創設しました。本省災害対策本部長の指揮命令のもと、全国の各地方整備局等の職員が活動します。

※TEC-FORCE (Technical Emergency Control FORCE)：緊急災害対策派遣隊

活動内容

- | | | |
|------------------------------|--------------|----------------|
| ①災害対策用ヘリコプターによる被災状況調査 | ②市町村へのリエゾン派遣 | ③被災状況の把握 |
| ④Ku-SAT（小型衛星画像伝送装置）による監視体制確保 | ⑤自治体への技術的助言 | ⑥排水ポンプ車による緊急排水 |
| ⑦操作活動への技術的助言 | | |



平成27年9月関東東北豪雨(栃木県)
緊急雨排水活動支援



平成28年8月台風10号(岩手県)
河川の被害箇所調査



平成28年4月熊本地震(熊本県)
阿蘇市の被災状況調査

防災情報

信濃川河川事務所のホームページから、防災に関する様々な情報を発信しています。

信濃川河川事務所ホームページ

防災・災害情報

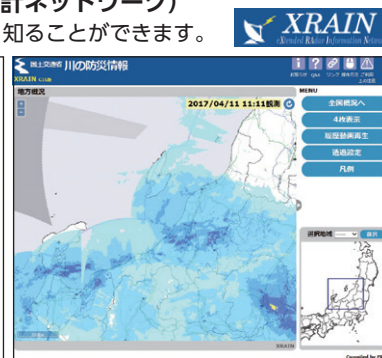


国土交通省 信濃川河川事務所ホームページ
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

- レーダ雨量情報
- XRAIN (高性能レーダ雨量計ネットワーク)
全国各地の雨量情報を早く、詳しく知ることができます。



(レーダ雨量)



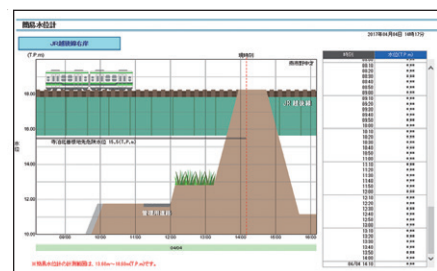
(XRAIN)

- 信濃川ライブカメラ
信濃川・千曲川の情報をライブで見ることができます。



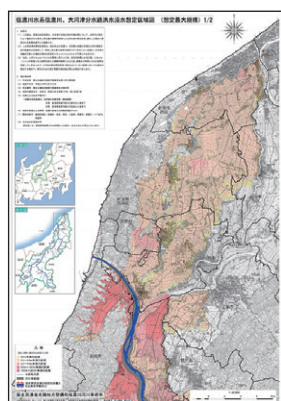
信濃川 17:09 右 長野市信濃

- 簡易水位情報
堤防が低くなっている箇所に水位計を設置し、洪水時の住民避難行動に役立てています。



- 浸水想定区域図
(信濃川・大河津分水路・魚野川)

想定できる最大規模の洪水が発生した場合の浸水範囲を示しています。



- 川の防災情報
水位・雨量情報

雨量、水位、水防情報等がリアルタイムで確認できます。

※「川の防災情報」のアドレス・QRコードは、河川看板等にも表示しています。



(スマートフォン画像)

「川の防災情報」アドレス

- インターネット
(<http://www.river.go.jp>)
- スマートフォン
(<http://www.river.go.jp/s/>)
- 携帯電話
(<http://i.river.go.jp>)

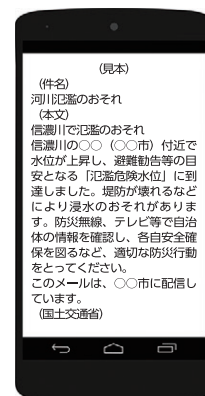


(携帯電話)

(スマートフォン)

- 緊急速報メール
(洪水情報のプッシュ型配信)

「緊急速報メール」を活用し、洪水情報を国土交通省から携帯電話ユーザーへ発信します。



※平成29年5月より対象市町村において配信開始

- SNS

事務所が防災体制に入った時に、信濃川（中流）・魚野川に関する水位、水防活動の状況、河川巡視結果などの情報をツイッターで発信しています。なお、平常時には、防災を啓発する活動、事務所の事業などの情報を発信しています。

また、フェイスブックでは、日々の事務所の仕事、イベントの情報など信濃川・魚野川に関する情報を広く発信しています。



twitter

- 公式アカウント
@mlit_shinano
- URL
https://twitter.com/mlit_shinano



facebook

- 公式アカウント
信濃川好太郎
- URL
<https://ja-jp.facebook.com/kotaroshinano>



国土交通省 北陸地方整備局 信濃川河川事務所

〒940-0098 新潟県長岡市信濃1丁目5番30号
TEL 0258-32-3020

しなの川学習館(信濃川防災センター)

〒940-0098 新潟県長岡市信濃1丁目5番30号
●開館時間／9:00～17:00
●休館日／土・日・祝日、年末年始
●入館料／無料



しなの川学習館

信濃川にまつわる様々な資料を展示しているほか、インターネットや信濃川に関する図書なども常設しています。

■見学のお申込み
信濃川河川事務所 TEL 0258-32-3020



大河津出張所

〒959-0123 新潟県燕市大川津
TEL 0256-97-2121

信濃川大河津資料館(信濃川大河津防災センター)

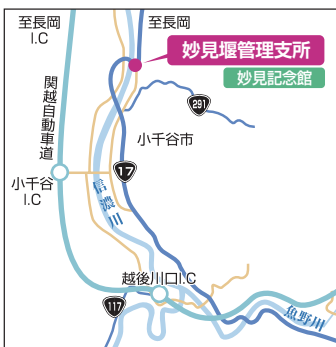
〒959-0124 新潟県燕市五千石
TEL 0256-97-2195
●開館時間／9:00～16:00
●休館日
・毎週月曜日
(月曜日が休日の場合は、その日以降の休日でない最初の日)
・年末年始(12月29日から1月3日)
●入館料／無料
●URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/>



信濃川大河津資料館

大河津分水の歴史と役割をパネルや映像、展示模型から学ぶことができます。また、防災に関する情報も発信しており、防災教育を含めた総合学習に利用できます。

■見学のお申込み
信濃川大河津資料館 TEL 0256-97-2195



妙見堰管理支所

〒940-1134 新潟県長岡市妙見町29番地
TEL 0258-23-1636

妙見記念館(信濃川妙見防災センター)

〒940-1134 新潟県長岡市妙見町29番地
TEL 0258-23-1636
●開館時間／9:00～16:30
●休館日
・土・日・祝日、年末年始(12月29日から1月3日)
※土、日、祝日も事前にご予約いただいた場合には開館いたします
●入館料／無料



妙見記念館

信濃川と私達のくらしの関わりや、妙見堰の役割を紹介しています。

■見学のお申込み
信濃川河川事務所 TEL 0258-32-3020



長岡出張所

〒940-0098
新潟県長岡市信濃2丁目10番25号
TEL:0258-32-4426



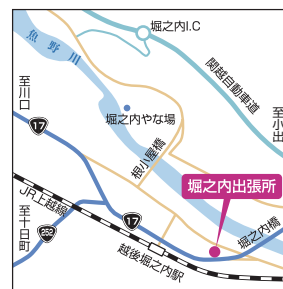
十日町出張所

〒948-0004
新潟県十日町市下川原町16番地
TEL:025-752-2180



越路出張所

〒949-5411
新潟県長岡市来迎寺甲2036
TEL:0258-92-2158



堀之内出張所

〒949-7412
新潟県魚沼市与五郎新田4-1
TEL:025-794-2064